

1

まちの活性化へ市民の声



▲会議であいさつする市長

福 江地区の活性化を図ろうと『福江地区まちづくり会議』を6月21日に設立しました。道路や河川、公園などの整備や、商業の衰退などの問題を抱える旧渥美町の中心市街地の活性化に向け、地域の住民や事業者などが行政と協働して、2年をめどに「まちづくりビジョン（構想）」を作成していきます。委員は、公募によって集まった21名と、地元推薦の自治会長5名の計

26名。顧問5名。校区総代・地元在住市議会議員」と行政の関係部署を交えたメンバーで会議を行っています。今のまちをどのように再構築するか「地元市民の皆さんが知恵を出し合い、行政と協働で次の世代につながるまちづくりを進めます。」

初会合となる今回は、まちづくり会議についての基本的な考えを事務局が説明し、会則を決定。さらに役員の選出を行い、会長に川崎政夫さん（福江町）、副会長に清田行雄さん（福江町）・渡辺長一さん（古田町）が就任しました。

同会議は今年度、同地区の現状と課題を議論していくほか、豊橋技術科学大学の協力を得ながら、子どもたちと一緒に「まちの魅力マップづくり」を行う予定です。

▼街づくり推進課

☎ 23局 3535

こんなにすごい!! 「吉胡貝塚」

■縄文人は犬と仲良し

平

成17年に、人間の赤ちゃん（はらう）と犬の赤ちゃんが一緒にの穴に葬られていた墓が見つかりました。人間の赤ちゃんは、径60cmの穴に頭部を北に向け、その頭には赤い顔料が撒かれ、体



▲日本で初めて見つかった、人間と犬の赤ちゃんが一緒に葬られた墓

を少し前にかがめた状態で、たいへん丁寧に葬られていました。そして犬の赤ちゃんは、その北側に葬られていました。

貝塚からはさまざまな動物の骨が見つかりますが、犬の骨は人間と同じように葬られて見つかります。犬はほかの動物とは違い、狩猟犬などとして人間が「最初に飼いはじめたペット」といわれています。

この事例は、赤ちゃんの死後の友達として、犬が仲良く一緒に葬られたものかもしれません。皆さんはどう思いますか？

▼文化財課（華山会館内）

☎ 23局 3531

「吉胡貝塚公園」の愛称を『シエルマよし』に決定!

11月開園予定の「吉胡貝塚公園」の愛称募集に、723件のご応募をいただきました。選考の結果、天野史菜さん（福江町）の『シエルマよし』に決定しました。シエルマとは、貝塚遺跡の英語「シエルマウンド」を短縮したものです。

たくさんのご応募ありがとうございました。